

図書館だより

休館日…毎週月曜日、10日(木)
 祝日開館日…3日(木)、4日(金)、
 5日(土) 9時～17時

★図書館カードをつくりませんか？

お子さんの名前でも登録することができます。また、児童書は貸し出しの冊数制限はありませんので、読み聞かせなどに図書館の本をどんどんご利用ください(登録は0歳からできます)。

★「おはなし会」(八日市場図書館)

日時…毎週土曜日14時から約30分間
 八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

★ドリームキッズ(のさか図書館)

日時…26日(土) 10時30分～
 内容…本の読み聞かせなど
 若林 ☎67-5965

東総短歌会小史刊行

昭和7年創立以来の歴史と共に、鈴木康文氏、土屋謙四郎氏、小林信夫氏などの短歌や歌碑所在などの掲載と、現在までの全会員の短歌を収めました。
 価格…700円 申し込み…東総短歌会事務局土屋耕一 ☎289-2102 匝瑳市椿1165-16

市政の窓 No.22



毎年4月中旬を過ぎると、わが家の台所には、知人やご近所から頂戴したタケノコが積み、三度の食事はタケノコづくしでしたが、今年は目にするのがまれなくなってしまいました。放射性物質の基準値がさらに厳しくなり、本市を含め近隣の農産物は問題が無いのですが、連日の報道の影響で毎年好意で配っていたいたタケノコも配慮せざるを得なくなっているのではありませんか。風物詩が消え寂しい限りです。ましてや

季節の風物詩

行事などは自粛ムードでしたが、今年は気候の関係で桜とチューリップを同時に楽しむことになりました。7万本が咲き誇る「そうさチューリップ祭り」は、まさに見事の一言でした。緑を全国PRする匝瑳市にとって、5月は一番充実し

タケノコやシイタケ栽培を営む農家にとっては死活問題であります。一日も早い原発事故の収束がなされない限り、日常生活や農業経営に甚大な影響を及ぼし、生活環境も一変してしまふでしょう。
 昨年の春先は花見や祭り

た月となります。飯高檀林の新緑祭を皮切りに、ボタン園が見ごろを迎え、生涯学習センター前での匝瑳市植木まつり、木積のおせん様のふじ祭りや大ツツジ、安久山のオーブンガーデンチャリティなどの行事が目白押し。

会場への皆さんの交通手段は自家用車だと思いが、この期間、無料シャトルバスを運行しておりますので、ぜひ一度ご乗車いただき、ゆっくりと地元良さを再発見してみたいかがですか？私もできる限り各会場へ足を運び、皆様とお会いできることを楽しみにしております。
 匝瑳市長 太田安規

文芸コーナー

短歌

千羽湖の水鳥の群静かなる風に流れて波にたゆとう

高 石井 房代

春寒く水雨の降れど昌隅に残る冬菜は茎立ち来たる

飯倉台 多部田佐智子

早春の寒さ続ける日々なれど馬酔木咲き初め白き房揺るる

椿 日色 和江

原発の避難区域の桜花眺めに来る人無きが淋しき

西小笹 伊藤 英子

頭髮に曾ての張りや艶も無き期待に覗く合せ鏡に

八日市場イ 鈴木 和子

不整脈鼓動気づかう翁の身啓塾過ぎて畦シート敷く

内山 林 恒雄

壁伝い歩みし姑の手の汚れ二十七年経ち今も残れり

萩野 川口 登喜

終戦後食糧得んとて衣料持ち列車の屋根に乗りて農家へ

八日市場イ 市原 弘

被災者に笑顔戻れと春彼岸僧の撞きたる鐘のひびかふ

野手 大木 政子

晚咲きの淡紅梅の盛りとなり庭に華やぐ桜花のごとく

栢田 小川 知至

孫娘の綴る成人となる思ひ読みつぐほどに目頭あつし

野手 伊橋 良子

看取りせずはた臨終に間に合はず逝かしめし母よ日に日に恋し

今泉 稲葉 雪子

俳句

漬物の塩は手計り春の風

西野 棠雨 推薦
 登戸 伊藤 さく

箕づくりの里

木積と歩く

匝瑳探訪

-72-



技術を伝える箕づくり

今年で第11回目となる「おせん様のふじ祭」が行われる木積区は、豊栄地区の最も北に位置し吉田地区に接しています。集落は本郷と青葉谷などからなり、白山神社と龍頭寺、円實寺のある本郷を中心にあふ祭がくり広げられます。同区は1350年ごろ新田義貞の家臣16人が移り住んだという言い伝えとともに、龍

頭寺境内の1363年の年号が刻まれた板碑も信仰活動を伝えています。農具の箕は、300年ほど前に同村の「加納(叶)おせん」という女性が製作方法を考案したとされ、同家の墓石が龍頭寺境内墓地で見つかります。

平成21年3月、「木積の藤箕製作技術」が国の重要無形民俗文化財に指定され、保存団体の「木積箕づくり保存会」によってイベントなどで製作技術が披露されています。

白山神社には樹齢数百年とされる夫婦杉が境内にそびえ、拝殿には1844年に奉納された「ダイコン投げ」の絵馬があります。この行事は明治の末まで行われていたとされます。

真言宗龍頭寺は十一面観音を本尊とする寺で、観音堂は1773年に再建され、境内に藤棚があります。

龍頭寺から坂道を上ると竹林に囲まれた日蓮宗円實寺が

あります。門柱のそばにつつじの大木があり、「ふじ祭」期間中は見る者の目を楽しませてくれます。この寺は1680年代に飯高檀林第30代檀林長の日宣が開いたとされ、日宣は同村生まれの日顕が同檀林で学んだ時の師匠といわれています。

境内の石塔を見ると、眼病守護や学業成就で名高い日蓮宗僧侶・日朝供養塔(1793年造立)、疱瘡神(天然痘)供養塔(1789年造立)がまつられています。現代と比べ医学があまり進歩していなかった時代に、安産祈願の七面堂(正面向かって左側の建物)や石塔に願いをかけた人たちの様子がしのべれます。

1884年(明治17年)秋、ここ円實寺本堂で自由党の集會が開かれました。その2年ほど前に結成された自由党下総支部八日市場分局には木積村や周辺村の有力者20人ほどが参加し、この集會が当地域での政治活動の幕開けとなりました。

箕づくりの里には、こうした人たちの足跡も残されています。

問 秘書課広報聴班

☎ 73・0080

有髪なる尼の読経や仏生会
八日市場口 高安せい子

柄杓持ち背伸びする子や仏生会
飯高 安藤 建子

廻廊は威厳の軋み花御堂
八辺 依知川きよ

夕闇が包みきれずに花辛夷
八日市場八 江波戸知巳

浮標にのる春鴨の影身じろかず
八日市場八 大川 宣子

夜桜に堰落つ水の響かな
高 中村 和子

あるだけの色を蒐めて花御堂
八日市場イ 菅谷たけし

川口 城司 推薦

薄水や宮古島より花だより
栢田 伊藤 定子

青りんご一つ香りて仏前に
栢田 加瀬 潔子

温室で育ちお目見えシクラメン
今泉 野中 妙子

川柳

高梨 果宝 推薦

コンビニの茶碗用いぬ食文化
長谷 石毛惣一郎

コンビニの夜の店番命がけ
八日市場ホ 大木波津恵

コンビニへ共働きが今日も寄り
八日市場ホ 鎌形ミツエ

コンビニがシャッター街をつくり上げ
飯塚 鈴木ツネ子

コンビニのトイレを借りるお茶を買い
八日市場イ 常世田やす子

真夜中のコンビニの灯が道標
飯高 林 サダ子

コンビニの隅に置かれた募金箱
八日市場ホ 菱木 静枝

便利さを買われコンビニ伸び盛り
八日市場イ 森 あつし

川口 城司 推薦

六十路暑さ寒さが身の重荷
川辺 及川 利道

あて先：匝瑳市秘書課広報聴班

〒289-2198

匝瑳市八日市場ハ793番地2

☎ 73・0080 FAX 72・1114